

第5回 外国人児童生徒教育フォーラム

日時:平成16年8月28日(土) 10:00~17:00

場所:一橋記念講堂中会議場

地下鉄東西線竹橋駅、または半蔵門線神保町

外国人児童生徒の就学前教育を考える

第4回外国人児童生徒フォーラムでは、「外国人児童生徒教育と母語教育」というテーマで、外国人児童生徒にとっての母語の意味と母語教育、母語による学習支援の位置づけについて議論をいたしました。

第5回のフォーラムでも、子ども達の成長と発達という視点を軸に外国人児童生徒教育を考えたいと思い、テーマを「外国人児童生徒のことばと学びについて考える」といたしました。子ども達の学びの空間は、どのような社会的、文化的、そして歴史的な文脈性をもつのか。その学びの空間で、子ども達は何をどのように学び、ことばをどう発達させていくのか。こうした見方をした時、子ども達の学習上の困難やことばの獲得の問題はどう捉えられるか。これらの点を、関連分野の専門家と現場の実践者との対談やパネルディスカッションを通して、考えていきたいと思っております。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

- 【1】10:00~10:30 開会式
- 【2】10:30~12:15 対談「ことば・学び・文化」
- (1)提案 高木光太郎(東京学芸大学国際教育センター)
- (2)対談 池上摩希子(中国帰国者定着促進センター)
- 高木光太郎(東京学芸大学国際教育センター)
- 司会:佐藤郡衛(東京学芸大学国際教育センター)

昼食・休憩(1時間15分)

- 【3】13:30~16:45 パネルディスカッション
- 「外国人児童生徒の『ことばと学び』について考える」
- (1)話題提供 竹下護(横浜市立いちよう小学校)
- 今澤悌(甲府市立琢美小学校)
- 児島明(和光大学)
- 石井恵理子(東京女子大学)
- (2)パネルディスカッションと全体討議
- 【4】16:50~17:00 閉会式

第25回 海外子女教育セミナー

海外子女教育セミナーは海外の日本人学校や補習授業校で教えることを希望している国内の教師の方を主な対象としたセミナーです。今年は、基調講演に谷野作太郎氏(東芝取締役・前駐中国大使)をお迎えするほかシンポジウム、派遣経験者による実践報告などを予定しています。

日本人学校、補習授業校への派遣に関心のある教員とその家族の方はもちろん、海外子女教育に関心をおもちの方ならどなたでも無料で参加できます。

ぜひお申し込みください。

■主催 東京学芸大学国際教育センター

■日程 11月27日(土) 9:30~16:00(受付開始9:00)

28日(日)10:00~16:15(受付開始9:30)

※開始時刻は変更の場合あり

■会場 東京学芸大学小金井キャンパス 国際教育センター(合同棟) 1F 大教室

JR中央線武蔵小金井駅北口より

京王バス「中大循環」行きにて「学芸大東門」下車、徒歩5分

■参加費 無料

■対象 日本人学校、補習授業校への派遣に関心のある教員とその家族の方はもちろん、海外子女教育に関心をおもちの方ならどなたでも参加できます。

プログラム

【11月27日(土)】

9:00 受付開始

9:30~10:10 開会/プログラム/会場案内

10:15 基調講演「国際社会に生きる日本~"国際社会とは何か"~」

谷野作太郎 先生

(東芝取締役 早稲田大学客員教授 前駐中国大使)

* 10/27 まで掲載していた講演内容に誤りがありました。お詫び申し上げます。

11:50 昼食

13:00 シンポジウム「在外教育施設における危機管理とそのサポート」

在外教育施設における危機管理とそのサポートについて、危機を経験された派遣教員、危機への心理的サポートをおこなっている心理学者などをパネリストにお招きして考えていきます。

・福島脩美 先生 (コーディネーター・目白大学人間社会学部 教授)

・小澤康司 先生(立正大学心理学部 助教授)

・吉田耕治 先生

(埼玉県白岡町立白岡中学校・校長前ニューヨーク日本人学校グリニッジ校 校長)

司会:高木光太郎(東京学芸大学国際教育センター 助教授)

16:00 終了

【11月28日(日)】

9:30 受付開始

10:00 講義(1)海外子女教育の現状と課題

佐藤郡衛 東京学芸大学国際教育センター 教授)

11:00 講義(2)ことばを学ぶ教師と子ども

杉田 洋 東京学芸大学国際教育センター 教授)

12:00 昼食

13:00 実践報告会～派遣経験者からのメッセージ

佐藤育子 先生 (北海道教育大学付属旭川小学校教諭)

山口修司 先生 (島根県頓原町立頓原小学校教頭)

田村雅人 先生 (茨城県取手市立取手第一中学校教諭)

戸塚 信 先生 (北海道鹿追町立鹿追小学校教諭)

松本洋一 先生 (茨城県鹿島郡旭村立旭東小学校教諭)

14:20 休憩

14:40 討論と質疑

16:00 閉会式

16:15 終了

第9回 国際教育シンポジウム

■日時 : 2005年1月29日(土)9:00～17:00

■受付開始 9:30

■開会 10:00

■開会式 10:00～10:15

■場所 : 霞山会館

東京都千代田区霞が関3-2-4(地下鉄銀座線「虎ノ門」駅下車5分)

TEL.03-3581-4671

■入場無料

テーマ : グローバル化時代と日本人の形成

総合司会: 佐藤郡衛 東京学芸大学国際教育センター教授(異文化間教育学)

特別講演

10:15～12:00

『日本の伝統文化と日本人の心』

片山文彦先生 花園神社宮司・國學院大學講師

シンポジウム

13:00～16:30 『日本文化論・日本人論の現在』

パネリスト

室伏志畔先生 大阪府立貝塚高校教諭(日本古代史学)

正慶 孝先生 明星大学教授(日本文化論)

関谷一郎先生 東京学芸大学教授(国文学)
木村 博先生 長崎総合科学大学助教授(哲学思想)
司会
西村俊一 東京学芸大学国際教育センター教授(国際教育学)

第1回 国際理解教育セミナー

東京学芸大学国際教育センター主催 第1回国際理解教育セミナー
「国際理解教育の新機軸－多文化・地域・市民性－」

東京学芸大学国際教育センターは、1978年に「海外子女教育の研究・教育活動の拠点となる全国共同利用施設」として開設されました。その後、日本の国際化の進展とともに、新たな教育課題に対応する必要があり、2002年に国際教育センターと名称変更いたしました。それまでの国際教育、海外子女教育等に加え、在日外国人の子どもの教育、国際理解教育等も視野に入れた研究・教育活動を展開しています。

こうした研究・教育の広がりに対応し、今年度から「国際理解教育セミナー」を開催することにしました。国際理解教育に関する理論的・実践的研究は、多く蓄積されています。しかし、国際理解教育は、その歴史的経緯、理論枠組み、実践の手法等があまりに多様であり、一様にとらえることができません。しかも、常に理念が先行し、現実とは距離がありすぎる感があります。今回は、「多文化・地域・市民性」というキーワードをもとに、今後の国際理解教育の方向性を探ることをねらいにしています。多文化化する地域の中で、具体的な実践を通して理論構築や研究と実践との統合を図っている3人の方に登壇いただき、今後の教育の課題や研究の方向性について多角的な議論を展開していただくことにしました。ぜひ、おこしください。

■日 時： 2005年3月5日(土)13:00～17:00

■場 所： 東京学芸大学合同棟1階大教室
(附属小金井小学校と同中学校の間にある建物)
JR中央線武蔵小金井駅北口より
京王バス「中大循環」行きにて「学芸大東門」下車、徒歩5分

プログラム

13:00～13:15 開会式(学長挨拶、センター長挨拶)
13:15～13:30 趣旨説明 佐藤郡衛(国際教育センター教授)
13:30～14:10 提案1 横田雅弘(一橋大学教授)
「国立のまちづくり－異文化間教育の視点から」(仮題)
14:10～14:50 提案2 結城恵(群馬大学助教授)
「地域で在日外国人児童生徒を支える」(仮題)
14:50～15:30 提案3 藤原孝章(同志社女子大学教授)
「学校・地域における市民性教育の実践」(仮題)
15:45～17:00 パネルディスカッション
(司会:佐藤、パネリスト:横田、結城、藤原)